

来る100年と次の100年に向けて—彦根高商の日々を知る—

【其三】就職をめぐる

今井綾乃（大58）

1 これまでの振り返り

1923（大正12）年	第1回入学式（入学者：151名） 修業年限3年 商業と高等教育を。
1927（昭和2）年	別科（修業年限1年）を設置（入学者：103名）
1939年	支那科、のちの東亜科（修業年限3年）を設置（入学者：58名）
1944年	「教育に関する戦時非常措置方策」 彦根高商は彦根工業専門学校に。 彦根高商に在籍していた生徒は彦根経済専門学校生に。新規入学は停止

【其の一】彦根高商の始まり

1919年～ 誘致運動

設立に必要な寄附金44万円 ≒約2億2000万

有力者、彦根町民、特に女性といった地域の力によって始まった彦根高商

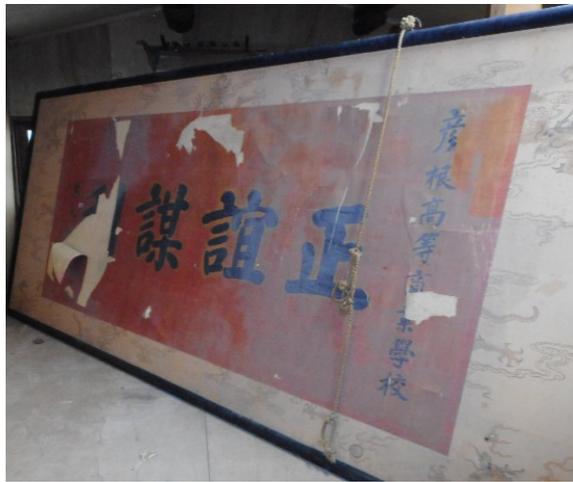
【其の二】教育をめぐる（カリキュラムの特徴）

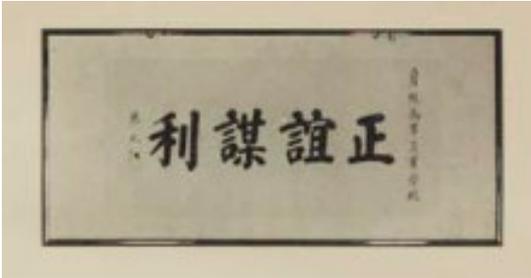
・「哲学概論」と「文化史」を必修科目として開講し続けた

理由：サラリーマンとしての人格の養成

背景：社会の要請、彦根という地縁

【共通】高商時代の文献や刊行物＝捨てるに捨てられない「古いモノ」 →歴史資料へ

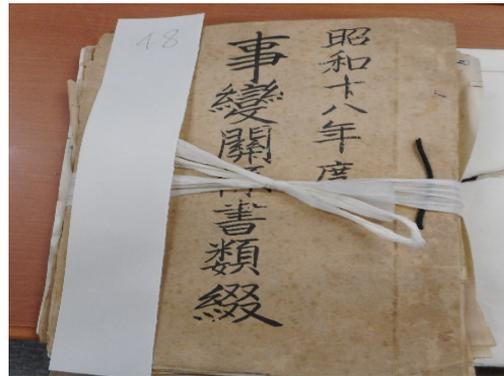




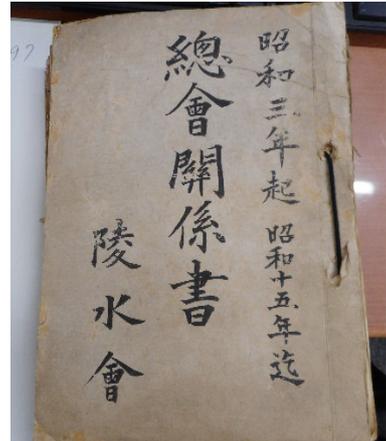
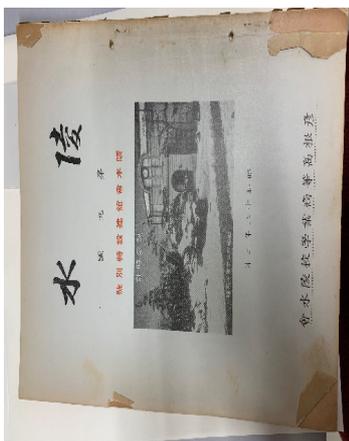
↑董仲舒の「正誼明道」「正其誼不謀其利、明其道不計其功」



黎元洪の来校、1924年



箱番号	整理番号	年月日	西暦	著編者	発行元	宛名	発部署/書名者	冊数	備考	入力日
105	1	[1937]	[1937]	陵水会館建設基金元帳 本1~本5	[陵水会]	[陵水会]	-	1		2018/2/6
105	2	[1937]	[1937]	陵水会館建設基金元帳 別冊1~別冊2 客員其他	[陵水会]	[陵水会]	-	1		2018/2/6
105	3	1942	1942	昭和十七年度 一般文書	[陵水会]	[陵水会]	-	1	綴じ紐外れ。	2018/2/6
105	4	1942	1942	勤務別陵水会員名簿関係書類	陵水会	陵水会	-	1		2018/2/6
105	5	1942	1942	昭和十七年度 会報関係書類	[陵水会]	[陵水会]	-	1		2018/2/6
105	6	不明	不明	客員及寄贈先名簿	陵水会	陵水会	-	1		2018/2/6
105	7	1936.12	1936	陵水会彦根支部 関係書類 昭和十一年十二月	[陵水会]	[陵水会]	-	1		2018/2/6
105	8	1937.10	1937	昭和十二年十月 タオル及切手受払簿	陵水会	陵水会	-	1		2018/2/6
105	9	1937.1	1937	昭和十二年一月 校章ネクタイ関係書類	陵水会	陵水会	-	1		2018/2/6
105	10	1937~41	1937~	校章ネクタイ切手受払簿	陵水会	陵水会	-	1		2018/2/6
105	11	不明	不明	二十周年記念事業寄付金簿	[陵水会]	[陵水会]	-	1	裏面は「母校二十周年記念事業」の案内。	2018/2/6
105	12	1942	1942	昭和十七年度 支払証拠書類	[陵水会]	[陵水会]	-	1		2018/2/6
105	13	1940	1940	昭和十五年度 事業関係書類	[陵水会]	[陵水会]	-	1		2018/2/6
105	14	1941	1941	昭和十六年度 支払証拠書類	陵水会	陵水会	-	1		2018/2/6
105	15	1937~41	1937~	ネクタイ申込書	[陵水会]	[陵水会]	-	1		2018/2/6
105	16	1937~39	1937~	校章ネクタイ購入決裁簿	[陵水会]	[陵水会]	-	1		2018/2/6
105	17	1942	1942	昭和十七年度 歳入歳出予算簿 控	[陵水会]	[陵水会]	-	1		2018/2/6
105	18	1943	1943	昭和十八年十一月 貳拾周年会計明細簿	陵水会	陵水会	-	1		2018/2/6
105	19	1939	1939	昭和十四年五月湯谷茶碗関係書類	陵水会	陵水会	-	1		2018/2/6
105	20	不明	不明	雑書類	-	滋賀大学経済	-	1		2018/2/6
105	21	不明	不明	[12月分一般会計]	-	-	-	1		2018/2/6
105	22	不明	不明	[写真]	-	陵水会大阪支	-	1		2018/2/6
105	23	1943.9.10	1943	[写真 田岡会長歓迎会(臨時役員会)]	-	陵水会大阪支	-	1	○	2018/2/6





(陵水会所蔵)

## 2 就職をめぐって (本科)

### (1) 先行研究<sup>1</sup>

- ・著名な卒業生／限定的な期間／業種や転職は不十分

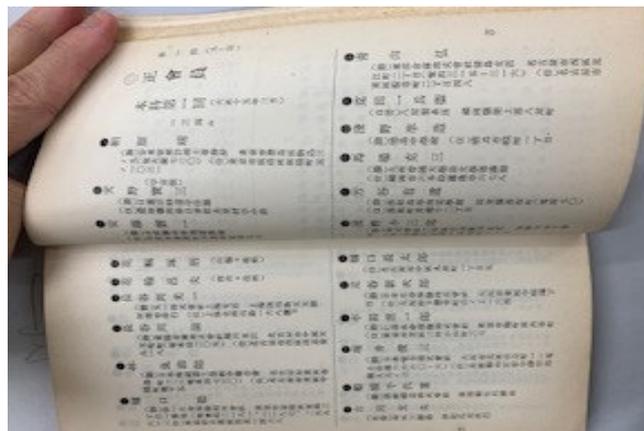
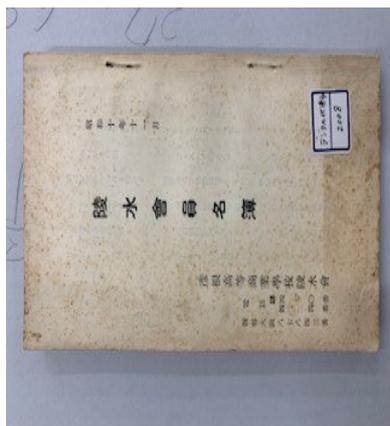
### (2) 活用資料 (滋賀大学経済経営研究所所蔵)

#### ① 『彦根高等商業学校一覽』

1926年～1934年度に、発行時の勤務先・住所

#### ② 『陵水会員名簿』

- ・1927年～1942年の1年ごと発行
- ・発行時の勤務先・住所



⇒本科：1回生（1926年3月卒）～19回生（1943年9月卒）

※19回生は資料がないため省く。総数2984名

<sup>1</sup>竹内洋『立身出世主義：近代日本のロマンと欲望』日本放送出版協会、1997年。松本睦樹・大石恵「旧制長崎高等商業学校における教育と成果：明治・大正期を中心として」『経営と経済』第85巻第3・4号、2006年2月。長廣利崇『高等商業学校の経営史：学校と企業・国家』有斐閣、2017年など。

	出身地	卒業時(大正15年11月)119	住所	昭和2年9月120	勤務地	昭和3年10月121	勤務地	昭和4年6月122	勤務地	昭和5年12月123	勤務地
1001	愛媛	品川税務署	東京	品川税務署	東京	品川税務署	東京	横浜税務署	神奈川	横浜税務署	神奈川
1002	愛知	明治銀行	愛知	名古屋第6兵隊第5中隊	愛知	明治銀行		明治銀行		明治銀行	愛知
1003	山形			山形商業学校	山形	山形商業学校	山形	山形商業学校	山形	山形商業学校	山形
1004	愛知	自営		自営		東陽倉庫笹島支店	愛知	東陽倉庫笹島支店	愛知	東陽倉庫笹島支店	愛知
1005	大分					自営		自営		自営	
1006	滋賀	日本銀行京都支店	京都	九州帝国大学法文学部在学	福岡	九州帝国大学法文学部在学	福岡	九州帝国大学法文学部在学	福岡	九州帝国大学法文学部在学	福岡
1007	岡山	日本陶器株式会社	愛知	彦根町立図書館	滋賀	彦根高等商業学校	滋賀	彦根高等商業学校	滋賀	彦根高等商業学校	滋賀
1008	三重	鴻池銀行	大阪	鴻池銀行	大阪	鴻池銀行	大阪	鴻池銀行	大阪	鴻池銀行中本支店	大阪
1009	静岡	阿部市商店	大阪	阿部市商店	大阪	又一株式会社	大阪	又一株式会社	大阪	又一株式会社	大阪
1010	愛知	鈴木商店	兵庫	鈴木商店	兵庫	東陽倉庫堀川支店	愛知	東陽倉庫堀川支店	愛知	東陽倉庫堀川支店	愛知

### (3) 進路動向の概要

表1 動向の比較

非公開
-----

グラフ1 就職率の比較

非公開
-----

#### 就職難<sup>2</sup>

- ・1927年3月(2回生) 「金融恐慌という困難な時代にあって、未だ歴史も浅かった」
- ・1930年3月(5回生) 「卒業1か月前に1人しか就職が決まっていなかった」

#### 就職率回復

- ・1937年以降 ⇔ 彦根高商 1932年以降回復

<sup>2</sup> 小倉栄一郎編『陵水六十年史』陵水会、1984年、尾崎盛光『日本就職史』文藝春秋、1967年、陵水三十五年編纂会代表芳谷有道編『陵水三十五年』陵水三十五年編纂会、1958年。

非公開

表2 業種別の就職先

非公開

⇒恐慌期と戦時期を変化する景気や産業の盛衰に影響  
地縁を持ちつつ、変化へ対応

表3 企業別の就職先

非公開

⇒ 1学年100～200名 1社への集中度小さい  
企業によって様々な様子  
多様な企業



—緊張せる就職軍—

(4) 学校と企業との関係<sup>3</sup>

非公開

- ・ 1931 年度  
「2500 余りの依頼状に対し、採用を申込んできたのはタッタ 112 ヶ所」
- ・ 1940 年度  
「例年より少し早目休暇の初めに就職依頼状を発送して全国各地に他校の機先を制して、求職戦線の火蓋を切ろうとしている矢先、求人側より逆手を喰って、いささかあつけにとられた」

- ・ 1934 年  
「体格や性格を学業成績と並行して重視し、強健にしてしっかりした人物」
- ・ 1942 年  
「学力以上に体力が重要視されるようになった」

3. むすびにかえて

特徴：地域という視点から

- ・ 彦根高商と近江商人系企業  
継続的な採用関係：工業系会社へ変わっても  
『入学指針』<sup>4</sup>：丸紅商店・伊藤忠商事・江商など
- ・ 1 学年に限られた人

非公開



1940 年 3 月卒業式 卒業アルバムより

※掲載写真は陵水会所蔵資料、滋賀大学経済経営研究所デジタルアーカイブ参照

<sup>3</sup> 中嶋英正編「新記録 2 つ」『陵水』第 21 号など。

<sup>4</sup> 佐加田洛水編『彦根高等商業学校入学指針』1926 年、北村書店。